



## 土曜デイ、さまざまなテーマを積んだ1年

曜日調整アンケートのご協力ありがとうございました。次年度のグループ編成会議の1回目を終え、わくわくしています。今後、新規のお子さんの申込状況を見ながら、微調整をしていきます。まだまだ公表できませんが、楽しみにしてくださいね。

土曜デイは平日と違うの？…よくある質問です。土曜デイの様子は、てのりの中でも特別切り取って公開することがあまりなかったため、ここであらためてご紹介します。平日は各グループで、土曜デイは、大きなテーマに沿って、プログラムは各グループのリーダーが企画しています。職員の出勤の関係でいつもの担任と違うスタッフがリーダーになったりもあるため、子どもにとっては、ちょっと新鮮？かな？ 右の表は、今年度の土曜デイのテーマです。→→→ 運動系、アート系、概念理解系、感覚系、全体活動、と大きなカテゴリーは5つです。

	A(1回目)	B(2回目)	C(3回目)
4月 9	におい	16 くぐる	30 作ってあそぼう
5月 14	またぐ	21 大きい小さい	29 ビニール袋遊び
6月 11	避難訓練	18 サファリパーク(プロジェクト)	25 聞く・音
7月 2	新聞紙遊び	9 食育・野菜	23 アート(夏祭り飾り)
8月 20	重い・軽い	27 おばけやしき	
9月 3	水族館(プロジェクト)	10 押す	17 お店屋さんごっこ
10月 15	ミニ運動会	22 アート(おばけ)	
11月 5	簡単おやつ作り	12 長い・短い	19 におい
12月 10	聞く・音	17 手をのばす	24 クリスマスおやつ作り
1月 7	食育もちつき	14 作って遊ぶ	21 嗅い・やわらかい
2月 18	くぐる	25 ウーバーイーツごっこ	
3月 4	アート(花にじ)	11 太い・ほそい	18 お別れパーティー

コロナ禍においては、平日も土曜日も、できるだけお部屋ごとの活動で、感染のひろがりを最小限にする体制になりました。全員が一同に会して行ったのは、ミニ運動会やもちつきぐらいです。お店屋さんやサファリパークや水族館、おばけやしきなどは、『時間差』『お部屋のローテーション』で環境設定をしました。

土曜デイも年齢でグループ分けすることが多いですが、時々、年少さんから年長さんまで全年齢のたてわりにします。

お正月あそびをした時は、たてわりのよさがよく出ていました。かるたや、たこづくりなど、年長さんにまじって、年少さんが、私もできますとも！の勢いで一緒に参加していました。おにいちゃんたちをモデルにして、何をしているのかわかりやすいのでしょうか。年長さんたちも、小さい子は目に見てあげるといっておにいちゃんらしさが光っていました。ミニ運動会なんかは、みんなで協力してがんばる一体感が味わえたりします。



土曜デイと平日の違いは、スタッフの数。平日よりも出勤できる職員が少ない関係で安全に見守るために、連絡帳の記入は省略させていただき、プリントにて活動の意味をお知らせしています。

土曜日はゆっくりおうちで過ごすもよし、土曜デイで1週間の疲れを分散させるべく楽しく遊んで帰るもよし。時間も平日と一緒にです。土曜デイは月1回～OK。お休みした日の振替でご利用したい時は、お声かけください☆

### 『手をのばす』活動って??

土曜デイで、『手をのばす』というテーマにした日がありました。

年長さんチームは、上のほうにつるした物をぐーっと手を伸ばしてとる、という活動。年少・年中さんチームは、かべに貼った模造紙におえかき。

手を伸ばす・・・いろんな意味や学びがあります。もっと上！！などの声かけをすれば、『空間認知』、あとちょっとで届く・・・！は、『ボディイメージ』。自分のからだって、こんな風に動く・ここまで伸びる／届くなど、からだに意識を向けることにもなります。また肩甲骨をしっかりと動かす粗大運動は、肩回りをリラックスさせ、ゆくゆくは手の操作性にも関連していきます。また、目と手・体の動きは連動して使っています。よく『目と手の協応』という表現をします。ふくろうでの発達支援では、からだの動きとともに、目で『物を見る・とらえる(注視)・追視する力』も、楽しい遊びの中で育てていきます。動きもテーマを設定して見てあげることで、



得意不得意がよく見えてきます。いろんな動きの遊びを経験させているうちに、必要な力が育ってくるのはよくあること。あそびは子どもの発達にとって、大事な栄養です(^ ^)。



